

植物と人々の博物館は NPO 法人自然文化誌研究会の施設です。山梨県小菅村内で、キャンプ施設とともに運営しています。

森とむらの図書室には約 8000 冊の書籍があります。国内外から購入およびフィールド調査の際などに収集しました。植物学関係を中心に、民族学、考古学、言語学、教育学ほか調理、哲学などです。数名の研究者からの寄贈書籍で構成されています。財団法人森とむらの会の資料は、財団解散後、すべて継承して保管しています。一部は上野原市の NPO さいはら・びりゅう館に貸し出しています。

腊葉庫には海外学術調査（京都大学、東京女子大学、東京学芸大学など）で採集した雑穀や雑草他の腊葉標本、栽培試験で得た証拠標本があります。

収集した種子標本は、東日本大震災 2011 の際に、計画停電で種子庫が機能せず、また放射性物質の拡散を危惧して、急遽、イギリスの王立植物園キューのミレニアムシード・バンクに、約 1 万系統を移管しました。主に栽培植物在来品種や祖先植物です。もう、日本にはありません。収集に関するリストは公開しています。

植物学調査フィールドノート・実験データや環境教育実践の一次資料や民具は保存、一部展示してあります。調査時の音声記録、スライド、ビデオ・テープ、DVD なども保存しています。文献資料は分類整理してあります。

2. ホームページは 3 つを維持しています。これらは相互にリンクされており、国会図書館のデジタル事業に公開登録されているので、毎年 7 月 20 日頃に収録、蓄積されています。

書籍リスト、民具リスト、標本リストはホームページで公開しています。

自然文化誌研究会、主に野外環境学習の実践活動報告

<http://www.npo-inch.ppmusee.org/>

植物と人々の博物館、主に民族植物学の研究活動報告

<http://www.ppmusee.org/index.html>

生き物の文明への黙示録、木俣の個人ホームページ：研究成果のすべてが収録してあります。自選集全 7 巻も pdf で読めるようにしています。印刷出版はしません。無料ですが、著作権は保留しますので、引用元は記述してください。

<http://www.milletimplic.net/index.html>

3. 施設の利用は歓迎します。ご相談に応じます。

連絡先 木俣美樹男 植物と人々の博物館専任研究員

[kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

現地連絡先 黒澤友彦 自然文化誌研究会事務局長

[npo-inch@yahoo.co.jp](mailto:npo-inch@yahoo.co.jp)

4. 研究成果の検索が不十分です。この AI は英文の資料を読み込んでいません。植物学の論文はほとんど英文で書いていますので、ほとんど参照されていません。したがって、主要な研究成果は反映されていないのです。たとえば、栽培化過程の遺伝的研究は意図して古典遺伝学の手法を重要視してきました。他方で、当時、最新の実験技術で DNA の系統分析

まで行って、キビほか、数種の雑穀、雑草などの種分化、栽培化過程の考察をしていますが、検索には載っておらずに、研究が不十分なことにされています。

Agent I の検索結果も限定的で不十分です。いくつかの質問が出されていますので、回答しておきます。

#### 植物と人々の博物館の現状

